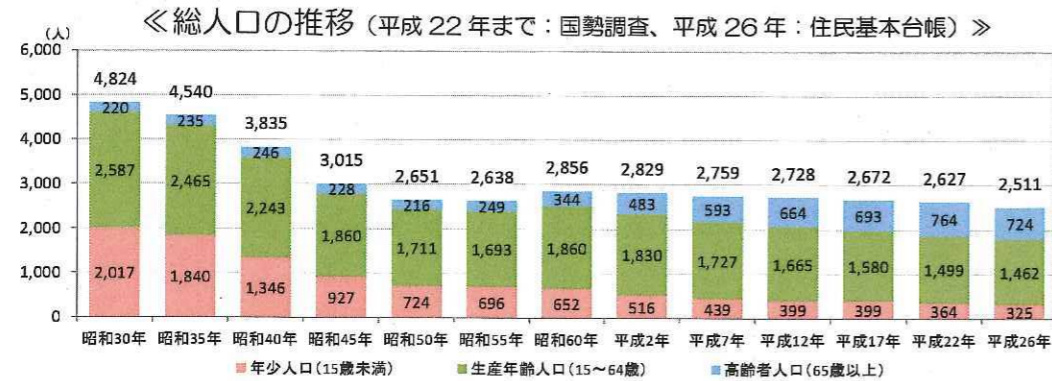


1. 鶴居村の現状

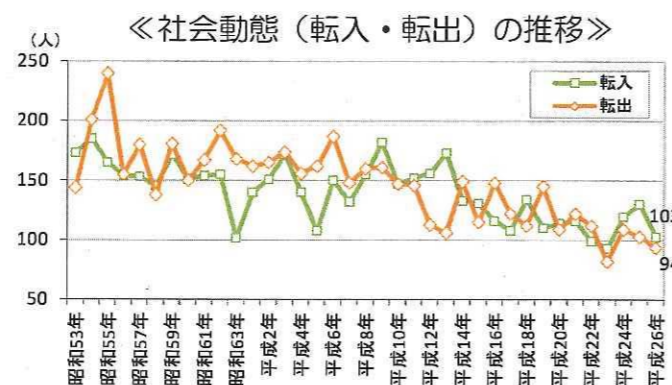
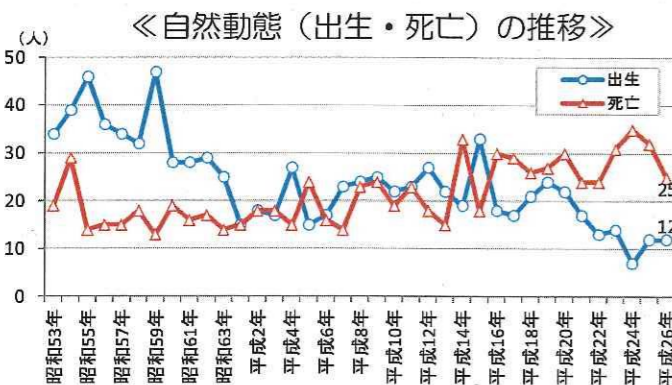
(1) 総人口と年齢3区分別人口

国勢調査による本村の総人口は、昭和 30 年の 4,824 人をピークに減少傾向に転じており、平成 26 年の住民基本台帳人口は 2,511 人まで減少しています。また、年齢 3 区分別でみると、少子高齢化が進展していることがわかります。



(2) 自然動態（出生・死亡）と社会動態（転入・転出）

出生と死亡の推移をみると、平成 16 年以降は自然減で推移しています。転入と転出の推移をみると、平成 10 年以降は転入超過となる年が多く、特に平成 23 年以降は転入超過で推移しています。



(3) 5歳階級別の人口移動

転入者数から転出者数を引いた純移動数をみると、15～24歳の年齢階級で転出超過となっていますが、他の年齢階級ではほぼ転入超過となっています。

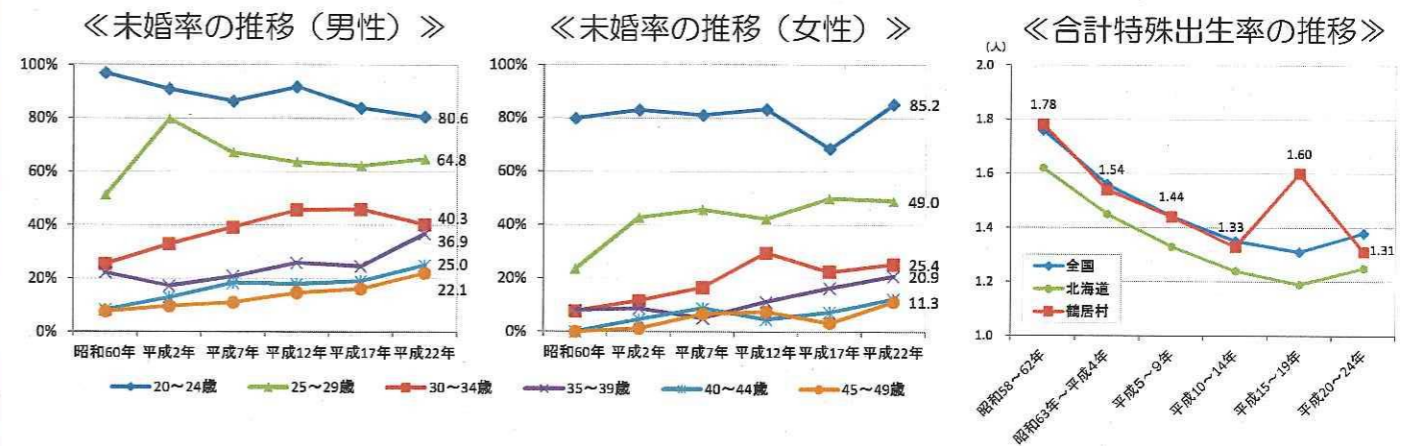


(4) 未婚率と出生率

平成 22 年の未婚率を年齢階級別にみると、男性は 30～34 歳から順次未婚率が下がっていきませんが、40 歳以降の未婚率はあまり下がらない傾向にあります。

女性に関しても 30～34 歳まで未婚率が下がり、40 歳以降の未婚率は大きく変わらない傾向にあります。

本村の合計特殊出生率は全国とほぼ同等で推移していましたが、平成 15～19 年に大きく上昇したものの、平成 20～24 年は全国を下回る状況となっています。



2. 鶴居村の将来展望

(1) 将来に向けての基本方針

◆合計特殊出生率

出生率向上に向けた取組みを行い、2040 年までに出生率を「2.10」に向上させます。

◆純移動率

基本方針に基づき、転入者の増加、転出者の減少に向けた取組みを行い、社会減を抑制させます。

(2) 鶴居村の目標人口

平成 72 (2060) 年における総人口を 2,000 人以上確保することを目標として、将来に向けての基本方針を通じて人口減少対策を推進していくこととします。

